

特定本邦航空運送事業者（※）に関する航空輸送サービスに係る情報公開（平成28年1～3月）のポイント

※特定本邦事業者

- 日本航空：JAL（日本航空、ジェイエア）
- 全日本空輸：ANA（全日本空輸、ANAウイングス）
- 日本トランスオーシャン航空：JTA
- スカイマーク：SKY
- AIRDO：ADO
- ソラトピア：SNJ
- ※SNJは2015年12月1日より商号を変更

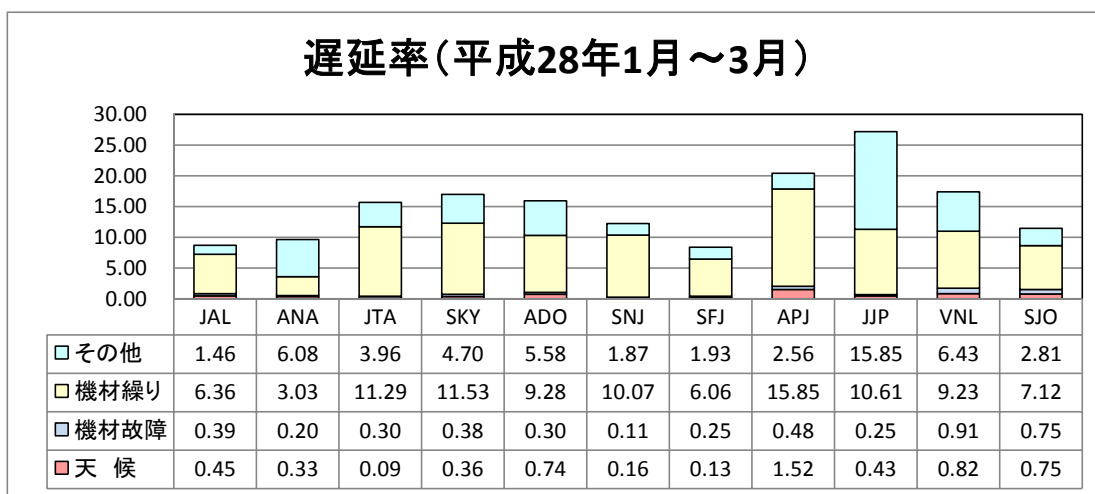
- スターフライヤー：SFJ
- Peach Aviation：APJ
- ジェットスター・ジャパン：JJP
- パネライ・エア：VNL
- 春秋航空日本：SJO
- ※SJOは2014年8月1日から運航開始

1. 輸送サービスの比較等に関する情報

（1）遅延率（平成28年1月～3月）

当期実績 (27年度累計)	前年同期実績 (26年度累計)	前年同期との比較 (前年度累計との比較)
11.44% (8.87%)	8.74% (9.14%)	2.7ポイント上昇 (0.27ポイント減少)

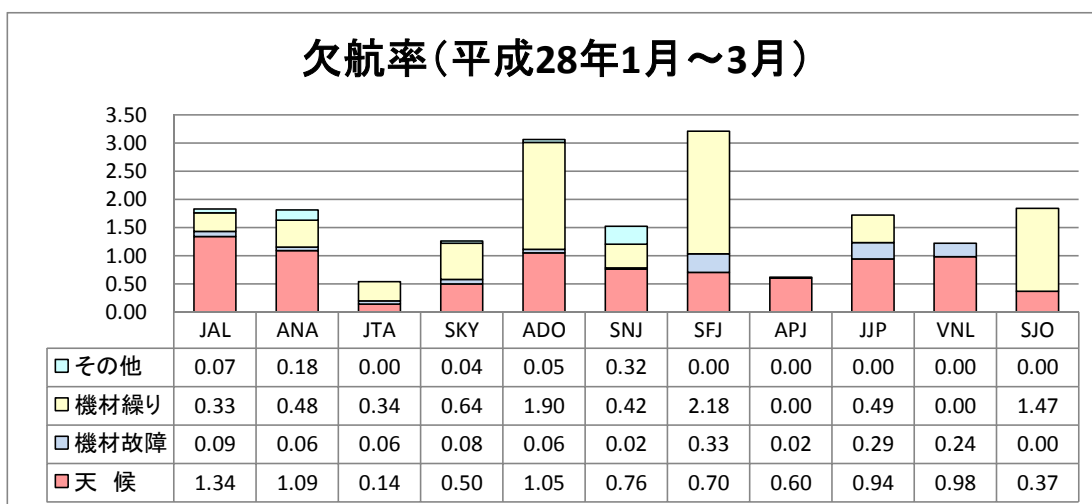
※「遅延便」とは、出発予定時刻より15分を超えて出発した便をいう。



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。（夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。）

（2）欠航率（平成28年1月～3月）

当期実績 (27年度累計)	前年同期実績 (26年度累計)	前年同期との比較 (前年度累計との比較)
1.78% (1.19%)	2.04% (1.40%)	0.26ポイント減少 (0.21ポイント減少)



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。（夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。）

2. 運賃関連情報

(1) 輸送実績（平成28年1月～3月）

項目	当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
平均搭乗区間距離	936km	931km	0.54%増
輸送人員	2229万7004人	2209万1534人	0.93%増
輸送人キロ	208億7727万人km	205億6576万人km	1.51%増
旅客収入	3142億74百万円	3119億03百万円	0.76%増
輸送人員あたり 旅客収入	14.1千円	14.1千円	-
輸送人キロあたり 旅客収入	15.1円	15.2円	0.66%減

(2) 路線別データ（平成28年1月～3月）

①旅客数

上位5路線は次のとおり。

1位	東京＝札幌	218万4310人
2位	東京＝福岡	206万0702人
3位	東京＝那覇	127万4073人
4位	東京＝大阪	125万3118人
5位	東京＝鹿児島	55万1098人
	全路線	2202万4888人

②利用率

上位5路線は次のとおり。

1位	関西＝仙台	90.8%
2位	成田＝関西	89.9%
3位	関西＝鹿児島	87.7%
4位	関西＝長崎	85.9%
5位	札幌＝那覇	85.2%
	全路線	68.1%

下位5路線は次のとおり。

1位	札幌＝稚内	31.6%
2位	宮古＝石垣	35.0%
3位	東京＝稚内	36.8%
4位	札幌＝富山	38.7%
5位	札幌＝釧路	38.8%
	全路線	68.1%

3. フレックストラベラー制度（※）に関する情報

平成28年1～3月における、フレックストラベラー制度を有する航空会社又はグループの全輸送人員に対する不足座席数の割合（1万人あたり）が高かった特定本邦上位3社は次のとおり。

（※）オーバーセールス（搭乗手続きにきた予約客の数が提供座席数を上回る結果、座席を提供できない予約客が発生すること）の発生が判明した時点で、自主的に搭乗を取りやめる旅客を航空会社が幅広く募集する。

		全輸送人員に対する不足座席数の割合 （1万人あたり）	
		当期実績	前期実績
①	ソラシドエア	2.21人	2.03人
②	スターフライヤー	2.18人	5.65人
③	AIRDO	1.48人	0.86人
	全社平均	1.05人	1.80人

※今回の公開項目の詳細、及び過去の公開資料につきましては、国土交通省のホームページ上にてご確認頂けます。

（URL）http://www.mlit.go.jp/koku/15_bf_000727.html